

評価点		1	2	3	4	5
観点	PPDAC		標準レベルを達成できなかったといえない	標準的なレベルを概ね達成できた	標準レベルを越えて達成できた	
課題 発見力	P 問題	理想だけ、もしくは、現実だけに着目しており、問いも立てておらず、抽象的な問題設定である。	理想と現実のギャップを見出しているが、立てた問いはすぐに解が見つかり、やや抽象的な問題設定である。	研究の目的が明確であり、適切な問い立てができており、具体的な問題設定である。	複数の問い立てから、具体的な問題設定である。	先行研究を根拠して独自性のある具体的な問題設定である。
	P 計画	仮説が立てられていない。 (まだ問いであり、仮説になっていない。)	仮説を立てているが、研究による見通しを欠いている。(期限内で終わる見込みがない。)	適切な仮説を立てており、期限までに完成の見込みがある計画を立てている。	問題解決につながるデータ収集の方法までの計画を立てることができている。	問題解決につながるデータ収集・可視化・分析手法の計画を立てることができている。
課題 解決力	D データ	データ収集ができていない。	データ収集ができているが、整理・整形ができていない。	データ収集ができ、整理・整形ができていく。	問題解決につながるデータ収集ができ、整理・整形ができていく。	創造的な問題解決につながる複数の分野のデータ収集を行い、整理整形ができていく。
	A 分析	インターネットや先行研究等、他者による可視化のみである。	データ可視化をしているが、作法として不十分な点が見受けられる。	データの可視化がなされ、適切な数値を扱い、データ解析ができていく。	問題解決につながるデータの可視化、数値の扱い、データ解析ができていく。	データの可視化、適切な統計手法を用いた客観的なデータ解析ができていく。
	C 結論	分析結果と結論が繋がっていない。もしくは、分析結果をそのまま示しただけで考察していない。	おおむね結論をまとめることができているが、不十分な点がある。	考察を行い、適切に結論をまとめることができている。	データを適切に分析し、問題解決にむけた説得力のある結論である。	問題の意味を広く認識し、分析結果をもとにさらに広い視野で結論を導いている。
表現力	ポスター スライドの 構成	体裁が不十分である。	各章ごとのつながりが弱く、研究内容の理解が十分にできない。	各章ごとでは論理的なつながりがあり、研究内容をある程度理解することができる。	章立てが適切に行われており、研究の流れが理解できる構成である。	研究内容の全体が十分に理解でき、聞き手に伝わりやすい工夫がなされた構成である。
プレゼンテーション力	発表態度	必要以上に資料等を見ながら発表し、聞き手に向かって発表できていない。	聞き手に向かって発表できているが、声の大きさ・速さなどが不十分である。	聞き手に伝わるように発表できている。	ジェスチャー・抑揚・間の取り方など、聞き手に伝わりやすくするための工夫をしながら発表できている。	聞き手に目配りしながら、聞き手の反応を見ながら発表できている。

○ 「A分析」の評価2の「作法」について：

軸の項目，単位，キャプションが正しく書かれているか，複数のグラフの比較では軸がそろっているかなど

○ 「表現力」の評価1の「体裁」について：

誤字脱字がない/文字のフォントや大きさが適当/グラフの情報に不足がない(タイトル，軸の項目，単位など)/表や図にキャプションが正しく書かれている(表は上・グラフは下)/見やすいデザインなど